

No.3



特集

リハ部 大解剖

みらいの人

リハビリテーション部 部長

看護部「呼吸器系研修」／新入職医師紹介
回復期リハ病棟実績データ
リレー職員紹介／リハ★飯／アクセス



みらいリハビリテーション病院
MIRAI REHABILITATION HOSPITAL

年末年始休診日
12/31～1/3

平日月曜日から金曜日と土曜日も診療しています。9:00～12:30/14:00～17:30

「ここにある、リハビリの力」 リハ部大解剖 「先端のリハ機器 BMI 紹介」



先端リハ機器用意 多彩な44名で支援

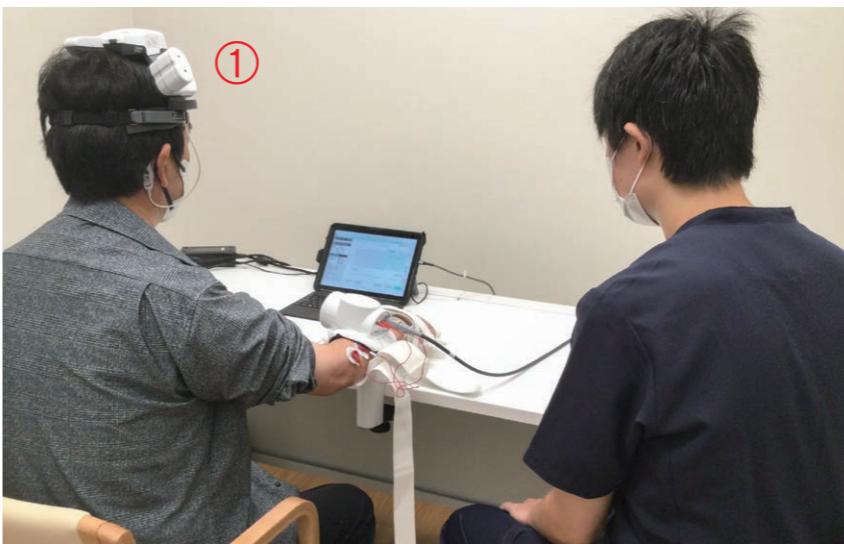
私たちリハビリテーション部は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士をあわせて44名（2025年10月1日時点）のスタッフで構成されています。経験年数1年目の新人から30年以上のベテランまで、多彩な職員が力を合わせ、患者様一人ひとりの身体機能や生活の再建を支援しています。

今年度のスローガンは「一致団結」です。開院にあたり多くの新しい仲間を迎えた中で、全員が同じ方向を向き、心をひとつに取り組むことを大切にしてきました。

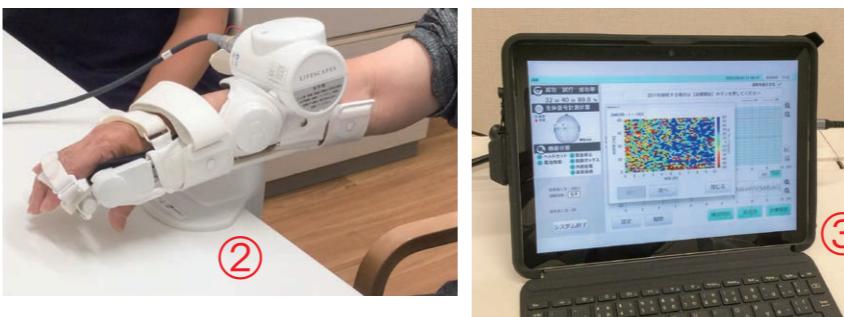
当院は回復期リハビリテーション病棟を中心に、早期の家庭復帰・社会復帰を目指した医療を展開しており、リハビリテーション部では、先端的なリハビリ機器を積極的に活用しながら、専門的知識と技術を磨き、質の高いリハビリの提供に努めています。

開放的で 温かな空間を演出

リハビリテーションルームは、2階と3階が吹き抜けで、電車通り沿いはガラス張りになっています。床は優しくきめ細やかな木目のフローリングです。この開放的で温かな空間で、外を眺めながらリハビリをすることが、患者様のモチベーションアップに貢献しています。



↑週に1回、BMIでリハビリをする患者A様（左）と園田OT（右）



右片麻痺の患者A様のリハビリの様子

頭にヘッドセット（写真①）、右手に電動装置（写真②）を装着し、最初の5秒は「リラックス」。次の5秒で、「筋肉が縮むイメージ」をします。この1セットを10回続けます。モニターでマップとグラフを確認します。（写真③）マップの青が多いければ脳が活性化し、グラフがプラスになります。

→つまり、手を動かすイメージができたことになります。



患者A様

字を書くことを目標に

「左被殼出血により右片麻痺となり、現在もリハビリに取り組んでいます。BMIを使った練習では、自分の動きをモニターを通してすぐに確かめることができます。意識しなくても肩の力が抜けるような感覚があり、体の動きを意識するきっかけになっています。今では、「自分の右手で字を書く」という目標をもってリハビリを継続しています。



患者A様の
リハ担当
園田OT

患者様の状態に合わせたリハを

患者A様は、リハビリの際に筋肉に力が入りやすい傾向がありました。BMIを用いた練習では、モニターを通して体の動きを確認しながら、リラックスした状態で取り組むことができました。今回の経験を通して、今後も一人ひとりの状態に合わせたリハビリを工夫し、より良い支援ができるよう努めていきたいと思います。



10年目ベテラン・謎の癒し系
蔵ヶ崎 大地 さん

Q プリセプターとして大切にしていることは?
A 新人が未来の専門職として成長し続けるための「思考の土台」を築くことです。

Q 印象に残っている患者様は?
A 「リハビリとは、一度閉ざされた人生の扉を再び開くこと」だと、諦めない心を教えてくれた患者様です。

Q 謎に包まれたプライベートを教えて。
A 無垢材にほれ込んでいます。撫でたら人間も丸くなると信じて、自分と無垢材の進化を楽しみにしています。



「超コミュ力」新人
宮上 愛花 さん

Q 当院を選んだ決め手は?
A 評価実習でお世話になり、先端の医療を学びながら自己研鑽に励む先輩に憧れました。

Q 思い描いた通りの職場、仕事ですか?
A はい!

Q 仕事は充実していますか?
A 学生時代の勉強が、患者様の生活やリハビリで「こういうことだったのか!」とつながる瞬間が本当に面白いです。特に臨床は楽しく、充実しています。

ほかのリハビリテーション機器

レール走行式免荷リフト



免荷機能を活用、早い段階から歩く訓練ができるリハビリ機器です。スタッフの支えが少なくとも取り組め、自分の力で歩く自信につながります。

ウェルウォークWW-2000



運動学習理論に基づき歩行向上を促すリハビリ支援ロボットです。適切なアシストで初期から自然な歩き方で練習を行えます。

みんなとっても仲良し。

お昼は8Fのレストランで楽しく食事をして、パワーをチャージします。



学会発表 「第34回鹿児島県作業療法学会」

10月12日(日)伊佐市文化会館

リハビリテーション部
園田 征志

脳卒中右片麻痺患者の運転再開に向けた
作業療法と自動車教習所との連携支援の一例

リハビリテーション部
白谷 汐音

Brain Machine Interfaceが上肢機能、
脳波に与える影響
-3例での報告 -

リハビリテーション部
立原 美紗妃

Rey複雑図形模写および立方体描画能力の低下を
認めた症例で両課題遂行可能化を示した一例

看護部

呼吸器系に強くなろう! シリーズで研修を実施

看護部では今年度、「呼吸器系に強くなろう!」をテーマに
医局やリハビリテーション部とも連携して
シリーズで研修を実施しています。

第1弾は、6月に人工呼吸器の取り扱い・アラーム対応について、業者様の協力のもと、基本的なことを学び、確認しました。



第2弾は、当院の松口徹也医師による「呼吸不全の病態とフィジカルアセスメント」講義です。9月から3回にわたり講義が行われています。第1回目は「呼吸不全の病態と症状」、11月の第2回目は「よくわかる血液ガス分析」の演題で学びを深めました。当日参加できなかったスタッフは録画視聴を実施、看護師全員が講義を受けています。最後の講義は「呼吸不全の早期発見、悪化防止、観察ポイント(予定)」です。

(写真上)

第3弾は、「肺炎予防～肺理学療法の演習」と題して、リハビリテーション部の呼吸療法認定士山下俊和PTの実技演習を行いました。呼吸ケアで使える技術編で、姿勢保持やリラクセーション法、呼吸訓練、スクイージングによる排痰技術などを学びました。実践的な技術を学ぶため質問も活発に行われ、有意義な研修となりました。

(写真下)



内科・消化器内科

か もり
家守 雅大



出身大学
久留米大学医学部卒

【専門資格等】
日本外科学会専門医、日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本臨床肛門病学会認定医、上下部消化管内視鏡スクリーニング認定医
日本ヘリコバクター学会認定医、日本消化管学会専門医・指導医
日本大腸肛門病学会専門医、日本抗加齢医学会専門医
日本消化器がん検診学会総合認定医

主に消化器内科、なかでも消化管内視鏡検査・治療(胃カメラ・大腸カメラ)に従事しています。定期的に胃カメラ・大腸カメラを受けることで、がんを含む病気の早期発見・早期治療を行う事ができ、健康寿命の延伸につながります。特に下部消化管内視鏡(大腸カメラ)は患者様に苦痛が無く楽に検査を受けられるよう、小さな病変も見落とさないよう丁寧に行う事を心掛けています。

大腸ポリープ切除も行っており、日帰り・入院での切除の両方に対応していますので、患者様のご希望に柔軟に対応できるものと思っております。

微力ではありますが、今まで培った知識・技術・経験等を患者様に還元できるよう頑張りたいと思っています。些細なことでも構いませんので胃腸で気になるがあれば、お気軽に当院に相談しに来られてください。

今回ご紹介するのはこの3人



リハビリテーション部
理学療法士
山口 恭人さん



外来
看護師
上久木田 空さん



薬局
薬剤師
福田 满弘さん

生まれも育ちも北海道の私が、理学療法士17年目で鹿児島に来ました。私が志しているのは、患者様がその日一番のパフォーマンスを発揮しリハビリ後に目が輝いていることです。冬の北海道は世界が注目する「パウダースノー」と旬の「蟹」が最高ですよ。

次は、外来の癒し系上久木田さんです。

自分に余裕がないと患者様に伝わってしまうので、どれだけ忙しくても少し世間話をするなど、笑顔を忘れないようにしています。休日の昼食は必ず自炊をします。レシピを考えるのが楽しみです。おすすめのラーメン屋は、同級生の両親が経営する「笑屋」です。

次は、薬のエキスパート福田さんです。

薬とリスクは常に隣り合わせ。どうすればより安全に届けられるかを日々考えています。自然が好きで、休日は花や海、神社などを巡りながら気ままにドライブをするのが、私にとって最高のリフレッシュタイムです。

次は、職員の幸せを願う人事の永井さんです。

栄養科

鶏むね肉と白菜のチーズ蒸し

リハ栄養 旬の食材で効果アップ



◇作り方(所要時間:約5~6分)

- 1.鶏肉はそぎ切りにして、塩コショウを軽くふる。
- 2.耐熱容器に白菜を敷き、鶏肉をのせる。
- 3.酒を全体に回しかけ、にんにく(お好みで)を少量のせる。パプリカをちらす。
- 4.上からチーズをまんべんなくのせる。
- 5.ふんわりとラップをして、電子レンジ600Wで4~5分加熱。
- 6.火が通ったら、オリーブオイルをひとまわしかけて完成!

◇材料(1人分)

- ・鶏むね肉(または鶏もも肉):約100g
- ・白菜:2~3枚(ざく切り)
- ・パプリカ(赤・黄):各10g(細切り)
- ・ピザ用チーズ(とろけるタイプ):約30g
- ・酒:小さじ2
- ・塩コショウ:少々
- ・にんにく:少々(お好みで)
- ・オリーブオイルorごま油:小さじ1(風味づけ)

本日の食材 管理栄養士の「ここがポイント!」

鶏肉は、高たんぱく・低脂肪。筋肉の修復・維持に◎
冬が旬の白菜は、ビタミンC、カリウム豊富。たんぱく質の吸収をサポート
パプリカのビタミンCで免疫力アップ、たんぱく質吸収アップ
チーズは、動物性たんぱく質+カルシウム。骨を強化し、満腹感も

VOL 1

リハビリテーション部
部長

川上 剛
KAWAKAMI TSUYOSHI



先端のリハビリと温かいケアで
地域に必要とされる
リハビリテーション部に

Q リハビリテーション部のアピールポイントは?

A リハビリテーション支援ロボット「ウェルウォークWW-2000」や「Brain Machine Interface(BMI)」など先端的医療機器を積極的に導入し、より効果的に安全なリハビリテーションを実施しています。また、当院には熱意あふれる職員が多く在籍しており、最新の知識や技術を積極的に学び、チームとして互いに高め合う風土があります。

Q 地域に貢献し愛される病院になるために、 どのようなリハビリテーション部を目指しますか?

A 地域住民の方々向けの健康教室や転倒予防講座、介護予防の取り組みなども今後積極的に実施していく予定です。先端の医療機器を活用したリハビリテーションと、若いセラピストの柔軟な発想力を生かしながら「地域に必要とされるリハビリテーション部」を目指します。

Q プライベートでは何をされていますか?

A マスターの水泳大会への参加を目標に、日々トレーニングに励んでいます。100mか200m個人メドレーに出場できるように現在練習中です。

回復期リハ病棟 | 実績DATA

※2025年4月～2025年9月

在宅復帰率

89.2%

※全国平均：78.4%

在院日数

75.3 日

※全国平均：66.0日

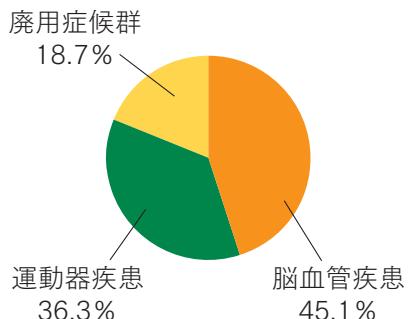
実績指数

46.7

※全国平均：46.6

退院患者割合

※疾患別内訳※



退院時FIM^{※①}

95.5

※全国平均：89.4

入院時FIM^{※①}

63.9

※全国平均：64.5

※① FIM(機能的自立度評価表)：
日常生活動作の能力を評価したもの
点数が高いほど自立度が高くなる

※② FIM利得：
日常生活動作能力の改善値を示す
(退院時FIM - 入院時FIM = FIM利得)

FIM利得^{※②}

31.6

※全国平均：24.8

アクセス



◆ 鹿児島中央駅から車10分

◆ 荒田八幡（市電・バス）から徒歩3分

お車で来院される際は、病院東側にある
駐車場をご利用ください。
ただ、駐車場台数に限りがありますので、
ご来院の際は、できるだけ公共交通機関
(市電・バス)をご利用ください。
ご協力ををお願いいたします。



〒890-0056 鹿児島市下荒田2丁目1番25号
TEL:099-252-2525 FAX:099-252-2530

平日月曜日から金曜日と土曜日も診療しています。9:00～12:30/14:00～17:30

年末年始休診日
12/31～1/3